

外観



東町は「長野市歴史的風致維持向上計画」の重点区域、「善光寺周辺地区街なみ環境整備事業」の整備促進区域に指定されていることもあり、外観は落ち着いた佇まいで長野市景観賞に認定された。

トイレ入口



トイレの入口前の待機スペース。中央には「旧水島紙店倉庫」時代に使用されていた井戸が残されている。建物入口には、トイレ内の設備がひと目でわかるサインと触地図を掲示している。

女性トイレ 洗面コーナー



シックで落ち着いた空間。カウンターを奥に傾斜させたオリジナルの洗面カウンターを設置。広がりを感じさせる大型鏡の上を、間接照明の優しい光が照らす。

内観



1Fには集会や休憩など利用できる多目的スペース(右下)、2Fには地元の文化などを紹介するのミニギャラリーがある(右上)。2Fからは地元祇園祭で巡行される伝統の屋台を鑑賞することができる(左上)。

女性トイレ 大便器ブース



トイレ内の壁には冬の寒さ対策として暖房器具を設置。大便器は、床の清掃性に優れた壁掛式を採用しウォシュレットを設置。乳幼児連れに配慮し、ベビーチェアとベビーベッドを設けたひろびろブースも備える。

女性トイレ パウダールーム・授乳室



洗面コーナー奥にパウダールームと授乳室を設置。プライバシー確保のため、授乳室はカーテンで仕切られ、いすが用意されている。

男性トイレ 小便器コーナー



小便器は、床の清掃性や節水性に優れた壁掛式の自動洗浄小便器を採用。小便器の間には、傘や手荷物が掛けられるフックを設置している。

多機能トイレ

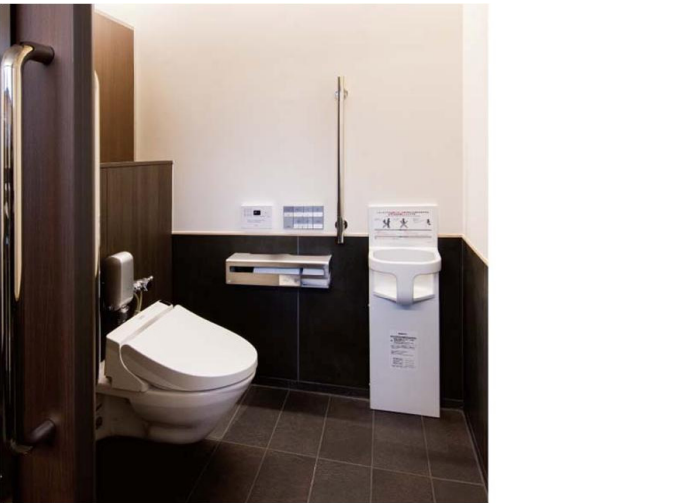


白を基調とした明るく清潔感のある多機能トイレ。車いす利用者やオストメイト、小さなお子様連れなど、さまざまな利用者を想定して汚物流しやベビーシートを完備。床の清掃用に散水栓と排水口を設置している。

建築概要

名 称	東司・東町屋台蔵
所 在 地	長野市大字長野東町116-1
施 主	長野市
設 計	株式会社宮本忠長建築設計事務所
施 工	<施工監理>株式会社宮本忠長建築設計事務所 <建 築>野村建設株式会社 <機械設備>大和施設株式会社 <電気設備>有限会社伊東電機商会
竣工年月	2015年3月

男性トイレ ひろびろブース



小さなお子様連れに配慮して、男性トイレにもベビーチェアを備えたひろびろブースを1ヶ所設置してる。ドアは開口部を広く確保できる引戸を採用。

トイレ図面



「東司」とは寺院における「トイレ」を意味し、清潔を重んずる場である。施設の清掃は、清掃業者へ委託し、9時の開鍵時と17時の施錠時に清掃することが徹底されている。

水まわりの特長

<改修の経緯>
善光寺の門前町である東町は、善光寺への参拝者などで非常に混雑し、特に参道の公衆トイレ不足が問題となっており、2015年の善光寺御開帳と北陸新幹線開通に伴う観光客の増加に対応する必要にも迫られていた。そこで市と東町住民が協議を重ね、大正末期に建てられた歴史的建造物「旧水島紙店倉庫(市所有)」を改修し、東町地域交流センターとして再生。公衆トイレをはじめ、長野市に残る伝統文化「屋台巡行」の屋台を収納する蔵や集会施設、ギャラリーが併設され、住民や観光客の憩いの場となっている。施設名の「東司(とうす)」は、寺院におけるトイレを意味している。

<水まわりの特長>
長野市景観賞に選定された建物にふさわしい、品位あるトイレ空間を実現。男女トイレとも、お子様連れに配慮してベビーチェアを備えた大便器ブースを設置。女性トイレにはパウダールームと授乳室を併設し、2度流しを防止するために、音姫(擬音装置)が用意され、女性へのきめ細やかな配慮がなされている。また、多機能トイレにはオストメイト対応パックを採用。夜間は防犯のために施設自体を施錠している。